

ドクター通信

9

安産を願いなながら

市立総合病院産婦人科部長 神部 憲一

里帰り出産について

里帰り出産には、実家の近くでお産ができるという安心感や、実家などから人手や経済的な面での援助を受けられるという良い点もあるのですが、医療の側からみても、いろいろな問題が多いと言えます。

まず、里帰りのための長距離・長時間の旅行は、今まで正常な経過をたどっていた妊婦にも、さまざまな異常を引き起こしやすいのです。出血、早期破水、早産などがそれです。また、何か異常が起きていても知らずにいる人もいます。例えば、すぐにも早産しそうなのに平気で里帰りする人などです。更に、途中から掛かり付けが替わるため、前の様子が分からない場合が多いこと。紹介状でも持って来てくれれば良いのですが、中には母子手帳への記載さえ不十分な人もいます。

実際の診療でも、また多くの報告を見ても、里帰り出産は早

産や難産、大出血などを引き起こす可能性が高いため、安易な気持ちでの里帰りはしない方が良いでしょう。前から異常がある人、異常が起きそうな人は、里帰りを予定していても止めた方が危険は少ないのです。どうぞ、もう一度よく考えてみてください。

胎児の性別について

超音波断層診断の進歩によって、妊娠中期以後には、胎児の性別がほぼ推定できるようになりました。しかし、必ずしも確実なものではなく、映り方によっては読み誤りも起こり得ます。生まれてみなければ分からないと考えたほうが良いでしょう。当科ではトランプルを避けるため、性別が分かっても原則としてお知らせしていません。

もし職員が赤ちゃんの男女の別について何か言っても、それは決して保証したものではありません。くれぐれも誤解なされないようお願いいたします。

生殖について

子孫を増やす・命を次代へ伝える「生殖」。しかし、これには元来無駄や失敗がかなりあるというところをご存知でしょうか。生殖現象には、およそ四分の三(七、八割)ぐらいの成功率しかないという学者もいます。

子供を望む夫婦が、当然子宮に恵まれると思うのは人情ですが、けれども実際は十組に一組ぐらいの確率で、妊娠できないとか、せっかく妊娠しても流産や死産してしまったりとかいう気の毒なことが起こります。また、一応無事に生まれても種々の異常や病気を持っている子供もいます。百件のお産があれば、軽い異常のある子供が五、六人、重い病気の子供が一人ぐらいいるのが普通のようなのです。

私たちの体には、いろいろな異常や病気を引き起こす遺伝子がありますから、だれにでも異常児出産の可能性はあります。しかし、妊娠・出産について心配し過ぎるのは胎教上も良くありません。心身ともに安穏な生活することが望まれます。



2月1日 ファクシミリサービスがスタート

— 戸籍・住民票の謄本・抄本など —

書類等の名称	市民課	花岡十二所	出張所
戸籍関係	▷ 届け出・出生など	○	
	▷ 謄本・抄本 ・ 戸籍、戸籍附票 ・ 除籍、改製原	○	○
	▷ 証明 ・ 記載事項、受理 ・ 年齢、身分	○	○
住民記録関係	▷ 届け出・転入・転出	○	
	▷ 謄本・抄本 ・ 住民票、除票	○	○
	▷ 証明 ・ 転出 ・ 記載事項 ・ 年金現況届	○	○

市では、平成二年二月一日から、市民課と九つの出張所すべてを行政用ファクシミリ(書類電送)で結びます。これにより、市民課でももちろん市内どこの出張所でも、戸籍と住民票の謄本・抄本の交付、一部諸証明の発行ができるようになります。どうぞご利用ください。

積内、長木、上川沿、下川沿、真中、二井田の各出張所では、これまで戸籍・住民票の謄本(全員分)や抄本(個人分)の交付などはできませんでしたが、二月から市民課と全出張所との間にファクシミリ網がめぐらされることで、どこの地区の人でも、市民課をはじめどの出張所へ行く

でも交付や発行を受けられるようになります。(該当書類等は左表をご覧ください。)

また、十二所、花岡出張所についても同様で、窓口事務の対象地区が広がられます。

今回のファクシミリ導入により、戸籍関係、住民基本台帳関係のサービスの一部が改善されますが、市では引き続きコンピュータの利用によって、住民記録や印鑑証明業務なども行えるように計画中で、一層の窓口サービスの充実を図ってまいります。